

地方創生推進交付金事業_懇談会委員評価 ※評価委員16人(評価、コメントなしの場合あり)

佐野らーめん予備校プロジェクト	評価委員数	「佐藤さんゆかりの地」聖地化プロジェクト	評価委員数
地方創生に非常に効果的であった	3	地方創生に非常に効果的であった	
地方創生に相当程度効果があった	7	地方創生に相当程度効果があった	4
地方創生に効果があった	6	地方創生に効果があった	8
地方創生に対して効果がなかった	0	地方創生に対して効果がなかった	2

事業関連の転入世帯数については、コロナ禍の影響もあり、目標を大きく下回ったが、独立開業した店舗2店が人気でマスコミの関心も高く、今後の展開が期待される。	組織会員数はかなりの数を達成しているが、アウトカムとしての賛同企業の獲得に結び付いておらず、情報発信、本市の魅力のわかりやすいコンテンツ化、イベント方法などでなお一層の改善の取り組みを期待する。
話題性がある。	活動の方向性がはっきりしていない。
移住に必要な「しごと」。佐野らーめんのスタートアップ支援でもいいが、らーめんに限らないスタートアップ支援の強化が必要では。実績は評価できる。	KPIで判断すると共感を生むようなプロモーションができれば、うまくいくと思う。
目標値が高すぎると思われませんが、引き続きの取組をお願いします。	「佐野の藤原」効果について、長期的にあるのか。必要でなければやめるべきではないか。
素晴らしいアイデアだと思う。もう少し長い目で効果を見守っていくべきだと思う。	他に例のない特徴のある取組であるので、今後、育てていくべきものだと思う。佐藤の会の会員になれば、どんなことをやっているのかよくわかるのかもしれないが、佐藤姓でないものに対して情報発信してほしい。なんとなく蚊帳の外におかれている気がする。
佐野市最大のキーコンテンツを使った本事業はコロナに負けず継続してほしい。更なる成長を期待する。	さらなるPRを期待する。
佐野らーめんのブランドは全国区レベルとなっている。そのブランド力を維持・向上させるためには、新規参入が必然となる。体力もラーメン店経営の大きな要素であることから、若い人が家族で佐野市に住んで開業し、繁盛店となるサクセスストーリーもあることから、らーめんの品質(味)、人口増加の両面で期待したい。珍しい取組なので、全国紙にも取り上げられており、佐野市の認知度アップにも貢献している。	コロナ禍で制約を受けるプロジェクトである。感染が落ち着いたなら直ちに対応できるように、準備しておいてもらいたい。
地域ブランドを活用した活性化策として、非常に上手な組み合わせで、PR効果は高いと感じる。実績と目標の乖離が大きいのが、事業の性質上、それほど大きな実績は出ないと思う(しかしながらPR効果の面で成果を得ていると思う)。	面白い取り組みであるが、本プロジェクトの成果がいまひとつわかりにくいように思う。知名度アップの取組に加え、佐野に来ることで得られる満足度をアップさせるイベント等をもっと充実させられるといいと思う。
ラーメンを守る取組として効果があったと思う。KPI③④との関連が少ないのではないかな。	佐藤さん会員の広がりがみられていない。佐藤さん以外の方が参加しづらい取り組みである。KPI②について、関係人口でも効果が表れるか疑問である。
コロナ禍であっても出店者、移住者があったのは評価できる。アフターコロナに向け、自走化できる体制づくりも急いでほしい。	プロジェクトの内容が分かるようでよくわからないという声をよく聞く。まだPR不足ということなのか。
県外を中心に問い合わせは60件を超え想定以上の効果を上げていることは非常に効果的であったと思う。店主の高齢化による後継者の確保が今後の課題。支援体制も持続性が必要である。	地域住民との交流を通して生まれる関係人口を作ることはよいこと。ただし定住促進を求めることには、例えば空き家対策の有効活用で、支援の方策として、引っ越しの費用・家賃・敷金礼金など新住民になることへの協力的な支援が必要であると思う。全国の佐藤名族を佐野市に招聘し、交流を図ることが関係人口を生む要因になると思う。
移転世帯数・新店開店数は少ないが、TV等でのPR効果が大変大きいと考える。すぐに数字に結び付かなくとも希望の持てる展望と思う。会議所の創業塾等、市内の企業や団体を巻き込んで支援しているのもよい。	着目点は楽しいが、4年経過してもさほどの全国展開ができていない。支援してくれる企業や団体がいないのは残念である。佐野信用金庫より支援があった旨の説明があり、大変ありがたいと思うが、その1社の協力金額で目標を達成したと考えるのは疑問である。各項目の目標値が高すぎるのではないかな。
実店舗で出店する方がいて、営業している時点でおおむね成功と考える。美味しい店が増えることを期待する。	200万人以上いる佐藤さん、のわりには会員数が少ない。佐野市の人口から目標を考えてもいいと思う。宣伝の仕方が悪いのか、企画自体に魅力がないのかわからない。
移住や転入者のみに向けてなのか。もともと佐野市にいる人も参加できるのか知りたい。	コロナの状況に合わせ活動していければ、結果に良い影響があると思われる。
らーめんだけでなく、他のものもやるべきだと思った。特に高齢化によりお店を続けることが困難な人たちと、出店を考えている人たちを繋げるきっかけとなるため、もっと力を入れるべきだと思った。らーめん予備校についてはメディアで見られる機会も多かったのので、認知度は高いのではないかと感じた。	佐藤の会はもう少し芸能人と協力したり、佐藤という名前じゃない方はルールとして活動する際は「佐藤〇〇」にするとかしても面白いと思った。～佐藤じゃない人も～と副題的なものも欲しいと感じた。

【懇談会中の発言】

<ul style="list-style-type: none"> ・佐野らーめん予備校の移住者数については目標達成が厳しそうだがどうか？ →なかなか時間のかかる事業なので、実態は厳しいが、高い目標を目指している。 ・ラーメン事業は市内の方を含むか。 →現在は移住施策として実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・佐藤の会は佐藤さんしか入れないのか。佐藤さん以外の人でも関わられるのかわかりづらい。 →HPなど改善する。
---	---